

報 告 書 抄 録

ふりがな	しせき のしまじょうあと							
書名	史跡 能島城跡							
副書名	平成27年度 城内通路（第2次）調査報告書							
巻次								
シリーズ名	今治市埋蔵文化財調査報告書							
シリーズ番号	第139集							
編著者名	榑部大作 田中謙							
編集機関	今治市教育委員会							
所在地	〒794-0027 今治市南大門町二丁目5番地1 電話 0898-32-5200(代)							
発行年月日	2017年3月31日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯 ° ' "	東経 ° ' "	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
のしまじょうあと 能島城跡	えひめけんいまぼりし 愛媛県今治市 みやくぼちょうみやくぼ 宮窪町宮窪6571、 6572、6573、 6574、6575番地 ^{ばんち}	202		34° 10' 58"	133° 04' 51"	20150525 } 20160208	43m ²	保存目的 調査
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
のしまじょうあと 能島城跡	城館跡	中世	通路状遺構		土師質土器、瓦質土器、 土製品、国産陶磁器、 貿易陶磁器、石製品、 鉄製品、銅製品、鉄滓等			
要約	<p>能島城内の中世段階の通路は、地山である岩盤を削平し、その後、盛土による複数回の造成と拡張を繰り返し通路としての機能を長期間にわたり持続させている状況が平成25年度の第1次調査同様に確認された。</p> <p>今回の調査では船だまりと郭Ⅲの間の斜面で通路状の遺構2箇所が確認されたものの、南部平坦地側については郭Ⅱへ続く明確な通路状の遺構が検出されなかった。出土遺物については城内の主な郭と同様な傾向で概ね15世紀後半から16世紀が中心。比較的出土量も多く、盛土整地層にも含まれていることから通路の造成や使用の時期を推定することが可能であった。</p>							